

様式1 令和4年度 山梨県立巨摩高等学校定時制学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	健康で、明るく、思いやりのある心の温かい生徒を育成する		
本年度の重点目標	1 授業を工夫し、基礎的な学力を確実に身につけさせるとともに、学ぶ意欲を育成する。	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	2 キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。		B 概ね達成できた。(6割以上)
	3 多種多様な体験学習を展開して、生徒に自信をつけさせるとともにコミュニケーション能力を育成する。		C 不十分である。(4割以上)
	4 保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。		D 達成できなかった。(4割以下)

山梨県立巨摩高等学校校長 渡邊圭一郎

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標			年度末評価(1月26日現在)
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	授業を工夫し、基礎的な学力を確実に身につけさせるとともに、学ぶ意欲を育成する。	授業の目標を明確にし、ICT機器を活用してわかりやすい授業に取り組み、言語活動の充実を図る。	授業アンケートの実施
		生活体験文や生徒会誌「青雲」の作成に全校体制で取り組み、生徒の国語力を向上させる。	校内生活体験文発表会、生徒会誌「青雲」
		資格取得に向けた取り組みを行う。	資格の取得状況
2	キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。	進路希望別にハローワーク、専門学校、大学等を訪問する機会を設け、進路意識の向上をはかる。	生徒アンケート
		進路ガイダンスや進路講話、企業見学等を実施する。	生徒アンケートまたは感想文
		教員による個別の指導体制を確立するとともに、面接指導にはハローワーク等の外部人材を活用することで、教員の負担軽減・多忙化改善を図る。	就職・推薦入試実績
3	多種多様な体験学習を展開して生徒に自信をつけさせるとともに、豊かな心とコミュニケーション能力を育成する。	総体・教育祭等の校外行事、生徒会行事、社会体験などを通じて、豊かな人間性、社会性の醸成に努める。	生徒アンケートまたは感想文
		地域の芸術・伝統文化に親しむ機会を設ける。	生徒アンケートまたは感想文
		生徒の実態を踏まえ、感染症対策を行ったうえで行事内容を検討・精選し、適切な活動を実施していく。	生徒アンケート
4	保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。	進路講話や授業参観など保護者の学校参加の機会を設け、学校理解に生かしていく。	保護者アンケートの実施
		生徒の活動や作品を地域へ周知する取り組みを充実させる。	保護者アンケートの実施
		ホームページ及び学校通信を充実させ、内容の濃い、より良い情報を発信する。	通信の発行やホームページの更新
5			
6			
7			

学校関係者評価	
実施日(令和5年2月16日)	
評価	意見・要望等
4	・ICT機器の活用は、様々なことに対応できるスキルを身に付ける上で有効であり、今後も意欲向上を図ってほしい。 ・授業と並行して資格が取れると志が高くもてる。一人一つの資格取得を目指す高校も良いイメージだと思う。資格取得に向けたサポート、指導にも注力していただきたい。 ・アンケートでは、授業に関する項目について良好な結果のものが多い。多様な課題をもつ子供たちに対して個に応じた指導をより一層推進し、卒業後に社会人としてやっていける力を身に付けさせる指導をお願いしたい。
3	・時間に制約がある中での学校見学など、通常授業以外の活動はたいへんと思うが、引き続き対応をお願いしたい。 ・手近な仕事からステップアップをしていくことは、人間を一回り大きくする。確かな情報を多く収集し、適正な就職活動を展開していただきたい。 ・進路指導において、指導内容に適した外部人材を活用することは生徒にとって有効なサポートになる。今後の機会の拡充をお願いしたい。
3	・総体や学園祭等で頑張る力を様々なことに向けてほしい。生徒は多くの才能に気付くと思う。内容や実施方法については検討を期待したい。 ・体験学習や学校行事は、学校生活の思い出としてかけがえないものになると思う。引き続きの指導をお願いしたい。 ・コロナ禍で機会が制限される中、前向きな努力が伺える。
3	・ホームページ等デジタルを活用した発信の拡充と、発信内容が生徒および保護者に確実に伝わるような工夫をお願いしたい。 ・保護者アンケートの自由記述欄にもあるように、学校生活での厳しさも必要と思う。難しい面も多々あるが、指導の範囲内で厳しく対応することも大切であると考えている。 ・ホームページへのアップや学校通信は見ていて楽しい。今後も継続してほしい。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。